

【部課名： 市長公室政策推進課 】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
フカキ夢・ひとづくり事業		国際化・グローバル化が進展するなかで、国際的な視野を持ち、自分で考え行動を起こせる人材を育成するため、深喜人材育成基金を活用し、市内在住の中・高校生等を対象に、研修費の助成を行う。			指標	総計の現状値	R7実績値	グローバル人材育成海外研修の実現に向け、派遣先及び現地での学習内容について事前調査を行った。実際に研修を行う学校や学生寮、フィールドワークで訪問するエリアを視察し、派遣に向けた安全性などを確認することで、令和8年度以降の海外研修の円滑な実施に向けた準備を進めることができた。 なお、令和7年度は海外研修実施に向けた調査期間としたため、市民向けの研修事業は実施しなかった。	グローバル時代にふさわしい人材のさらなる育成を図るため、実際に海外の環境に身を置いて現地の人や文化・食事に触れながら学ぶことができる海外研修を実施する。
総合計画の位置づけ									
基本目標	みんなが互いに繋がりが理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち				グローバル人材育成研修参加者のうち、今後海外で活躍することに興味を持った参加者の割合	64.30%	-		
個別目標	グローバル社会に対応しながら平和を願う気持ちを大切に世界で活躍できる力を身につけられるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	2,081	0					
個別目標の方向性	グローバル社会において活躍できる人財を育成します。	R7決算見込額	2,408	0					
		R8予算額	5,814	0					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
国際交流事業		市民と市内在住・在勤・在学の外国人との交流の機会を作り、多文化共生のまちづくりをめざす。 泉大津国際交流協会と連携し、本市の国際交流や異文化理解を推進する。			指標	総計の現状値	R7実績値	海外友好都市であるオーストラリア、グレーター・ジョーン市を表敬訪問した。市長同士の意見交換や現地施設の視察を通して友好都市としての理解を深めるとともに、今後の交流拡大に向けた議論を行うことができた。 民間のノウハウや知見を活かし、事業をより円滑に実施することを目的に、泉大津国際交流協会の事務局の一部を事業者へ委託した。事業者と協力しながら、市民と外国人との国際交流を推進することができた。	グレーター・ジョーン市とのさらなる連携を推進する。また、同市長が本市への訪問を希望していることから、受入れ体制を整えるとともに、さらなる連携に向けた協議を進める。 委託事業者の企画提案力や事務の精度に課題があったこと、これまで本市における国際交流の機会には泉大津国際交流協会の事業が中心となっていたことから、より広く市民に対して国際交流の機会を提供するため、直接市が事業を推進していく。
総合計画の位置づけ									
基本目標	みんなが互いに繋がりが理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち				自分とは違う価値観・慣習・文化の多様性を理解しよう心がけている市民の割合	73.40%	51.70%		
個別目標	グローバル社会に対応しながら平和を願う気持ちを大切に世界で活躍できる力を身につけられるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	1,617	1,494					
個別目標の方向性	国籍や文化等の違いを理解しあい共感しあえる環境づくりに努めます	R7決算見込額	4,978	1,099					
		R8予算額	2,115	226					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
行政評価事業		市が行う施策や事業を「市民にとってどのような成果を得られたのか」、「事業本来の目的をどれだけ達成できたか」という視点から評価・検証を行うことにより、限られた財源を有効に活用し、効率的で質の高い行政サービスを実現させることを目的とする。			指標	総計の現状値	R7実績値	令和7年度は評価シートを見直し、前年度実施した内容について評価することに加えて、各事業の必要性・有効性・効率性について検討することができるようになった。 そのうえで、担当課長が事務事業評価シートにより自己評価を実施し、取組み内容が総合計画に定めた指標にどのように影響したのかを把握するとともに、各事業の必要性等を改めて考えることで、今後の事業展開について検討する機会となった。 また、企業版ふるさと納税を活用した3事業については外部評価を行った。委員会からの提言として妊娠・出産・子育て応援事業について、経済的支援のみならず、専門知識を活かした相談業務の充実による競争的優位性を高めることが重要であるといった意見が出るなど、事業の改善を図るきっかけを得ることができた。	質の高い行政サービスを提供と総合計画の進捗管理ために引き続き行政評価事業は実施していく必要はあるが、より効率的な方法について検討しなければならない。 令和6年度より企業版ふるさと納税を活用するようになったが、今後は活用事業が増えていくことも想定し、より円滑かつ効率的に外部評価できる仕組みの検討が必要である。
総合計画の位置づけ									
基本目標	新たな力を取り入れ柔軟にアップグレードし続けるまち				社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合	41.7%	44.6%		
個別目標	デジタル技術や民間活力の導入と改革により柔軟で健全な行政サービスの提供と持続可能な行財政運営がなされるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	82	82					
個別目標の方向性	事務事業の見直しや再構築等適正な内部統制による業務の効率化と改革を推進します	R7決算見込額	37	37					
		R8予算額	84	84					

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
業務改革推進事業		少子高齢化に伴う社会構造の変化や増加する自然災害への対応など、自治体の担う役割が増大する中、これらに対応するための業務改革を推進し、市民サービスの維持・向上を図ることを目的とする。		指標	総計の現状値	R7実績値	令和7年度は、業務効率化を更に推進するため、生成AIを本格導入し、文書作成や修正の補助、文書要約、アイデア出し等で活用した。行政手続きのオンライン化については、全庁的な推進を継続し、進捗状況に応じて各課へのヒアリングの実施を行い、オンライン申請可能な手続き数を301件まで拡充した。	行政手続きについては、引き続きオンライン化可能な手続きの拡大を行うとともに、市民への周知等を行うことで、市民の利便性向上を図る。さらに、オンライン申請の利用率が高くない状況にあることから、オンラインで申請できる手続きについてさらに周知していく必要がある。
総合計画の位置づけ		業務の棚卸しの結果に基づき、庁内における事務のIT化、アウトソーシング、事業の統廃合等を実施し、業務の効率化を図る。		行政手続きがデジタル化されていると思う市民の割合	55.2%	46.0%	また、オンライン申請を活用してもらえよう、広報紙でオンライン申請できる手続きについて情報発信を行った。	RPAについては、より一層の作業時間削減を目的に、新たに4業務の拡充を目指す。
基本目標	新たな力を取り入れ柔軟にアップグレードし続けるまち	事業費（うち市負担額）【千円】		オンライン申請可能な手続き数	52件	301件	RPAについて、システム標準化に伴う業務の見直しにより1業務が減少したものの、新たに2業務の拡充を図り、入力作業の自動化・効率化を継続して推進した。10月にはRPAの使用状況調査を実施し、年間約300時間の削減効果があった。	職員の業務効率化については、生成AIの更なる活用を目的として、研修会を実施し、積極的な活用及び活用スキルの向上を図るとともに、庁内調査を実施し、活用事例及び業務効率化に寄与したかの把握を行う。また、限られた職員体制の中、業務効率化の推進は必須であることから、業務効率化ツールの実証実験を進め、本格導入に向けた検証も行っていく。
個別目標	デジタル技術や民間活力の導入と改革により柔軟で健全な行政サービスの提供と持続可能な行財政運営がなされるまち	R6決算額	8,661	8,661				
個別目標の方向性	デジタル技術の活用等により時間や場所に制約を受けない等利便性と質の高いサービスの実現を目指します	R7決算見込額	11,922	10,922				
		R8予算額	15,908	15,908				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
インバウンド観光促進事業		インバウンドの市内周遊及び市内飲食店の利用促進を図ることを目的に、日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語の4言語に対応した観光グルメマップおよびWEBページを製作。		指標	総計の現状値	R7実績値	観光グルメマップを、公共施設・市内飲食店・観光スポットへマップを配架するとともに、市のイベント等で配布した。また、増刷に合わせて新たな店舗を追加するとともに、同マップのWEBページにアクセスできる二次元コードを追加し、掲載店舗の情報を確認できるよう改善する等、よりマップを活用してもらえようようにデザインをアップデートした。	マップやWEBページには多くの施設・店舗の情報が掲載されており、掲載情報の劣化が発生しやすい点が課題であることから、最新の情報を掲載するための仕組みが必要である。
総合計画の位置づけ				魅力発信に関わる特設HPの閲覧数	5500件	54005件	なお、WEBページでは泉大津市のグルメや観光スポットの掲載にとどまらず、特産品の紹介、シェアサイクルでの市内周遊コースの掲載等幅広く市の魅力を発信することができた。	今後は、多言語観光紹介動画の作成と定期的な更新により、情報の鮮度を維持するとともに、より外国人観光客の来訪に繋がるような有益な情報を発信していく。
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	R6決算額	2,387	2,387				
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R7決算見込額	1,644	1,644				
		R8予算額	0	0				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
大阪・関西万博事業(政策推進課) (万博会場での催事)		大阪・関西万博への出展等を通じて、社会課題の解決に向けて官民連携・市民共創で進めてきた各種取組や魅力的な地域資源を市内外に発信する。		指標	総計の現状値	R7実績値	大阪・関西万博への7回の出展等を通じて、社会課題の解決に向けた官民連携・市民共創の各種取組や、だんじり、盆踊り、産業等の魅力的な地域資源を、その関係する事業者・団体・市民等と共に市内外に発信した。また、ともに参画した市民等から、「多くの方に体験・関心いただけた」という声もあり、シビックプライドの醸成につながった。	大阪・関西万博が閉幕したため、その機会を前提とした情報発信・魅力向上を図る本事業は終了とする。今後は、官民連携・市民共創によってつくりあげた本市の大阪・関西万博関連事業の記録を、子々孫々に引き継ぎ、未来のまちづくりに活かしていけるよう、各事業をまとめた記念冊子を作製し、シビックプライド醸成に寄与する。
総合計画の位置づけ				魅力発信に関わる特設HPの閲覧数	5,500件	54,005件		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	R6決算額	0	0				
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R7決算見込額	36,419	1,865				
		R8予算額	0	0				

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
大阪・関西万博事業(政策推進課) (いずみおおつまちなか万博)		地域で実施される団体等のイベントを「いずみ おおつまちなか万博」事業として認定・支援す るほか、市の取組みを発信するイベントもあわ せて開催し、まちの賑わい創出や交流人口の増 加を図る。			指標	総計の 現状値	R7実績値	市内全体を万博のサテライト会場に見立 て、市民や市内で活動する団体等ととも にイベントをつくりあげる「いずみおお つまちなか万博」では、12の団体等を支 援した。また、市の取組みを発信するイ ベントを実施、多くの来場者が訪れた。 団体のイベントを回遊する仕組みとして デジタルスタンプラリーを実施し、スタ ンプ取得総数1,018個と、市内全体の賑わ いの創出や魅力向上、交流人口の増加と シビックプライドの醸成につなげた。	大阪・関西万博が閉幕したため、そ の機会を前提としたにぎわい創出を 図る本事業は終了とする。今後は、 官民連携・市民共創によってつくり あげた本市の大阪・関西万博関連事 業の記録を、子々孫々に引き継ぎ、 未来のまちづくりに活かしていける よう、各事業をまとめた記念冊子を 作製し、シビックプライド醸成に寄 与する。
総合計画の位置づけ					泉大津市に住み続けたい と思う市民の割合	86.20%	88.40%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再 生発展するまち								
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎ わいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の 方向性	市政の情報や魅力を市民の関心を引くよ う工夫を凝らして届けることでシビック プライドを醸成します	R6決算額	0	0					
		R7決算見込額	9,019	0					
		R8予算額	754	0					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
総合計画進捗管理事業		柔軟で健全な行政サービスの提供と持続可能な行財 政運営をめざし、総合計画の進捗管理として施策の PDCAサイクルをまわし、計画的・効率的に推進す ることを目的とする。総合計画の成果指標に関する 市民アンケート調査を実施し、その数値を把握す る。			指標	総計の 現状値	R7実績値	第5次総合計画（前期基本計画）の進捗 管理として成果指標に関する市民アン ケート調査を実施した。無作為抽出した 16歳以上の市民2000人を対象として調査 票を郵送したところ、675件の回答（郵 送483件、WEB192件。有効回答率 33.8%）を得た。調査結果等を踏まえて 前年度の事務事業評価を実施し、総合計 画の進捗管理として事業の見直し等を行 った。	調査の実施自体は、指名競争入札により 選定した事業者へ委託していることもあ り概ね効率的に進められているが、回答 率の向上が課題である。今後も総合計画 の進捗管理を実施する必要があるため、 回答率向上に向けて費用対効果の高い手 法を模索しながら、定期的に同アンケー ト内容で実施していく。
総合計画の位置づけ					社会環境の変化や市民ニーズに的確に 対応した行政運営が行われていると思 う市民の割合	41.7	44.6		
基本目標	新たな力を取り入れ柔軟にアップグレー ドし続けるまち								
個別目標	デジタル技術や民間活力の導入と改革に より柔軟で健全な行政サービスの提供と 持続可能な行財政運営がなされるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の 方向性	事務事業の見直しや再構築等適正な内部 統制による業務の効率化と改革を推進し ます	R6決算額	0	0					
		R7決算見込額	1,050	1,050					
		R8予算額	2,159	2,159					